

佐藤玄々〔1888-1963〕(本名・清蔵、旧号・朝山)は、福島県相馬市出身の彫刻家です。宮彫師の家に生まれ、上京して山崎朝雲に師事。大正初期からは再興日本美術院彫刻部に加わり、平櫛田中、戸張孤雁、中原悌二郎らとともに活躍しました。

大正11年には渡仏し、ブールデルの指導の下、西洋彫刻を研究しています。帰国後は、歴史や神話をテーマにした像や、身の回りの蔬菜、小動物に取材した精緻な木彫作品を手がけました。

佐藤は、我が国の近代化が進む時代に生きた彫刻家です。本展では、西洋彫刻や日本の古美術の影響を受けながら、日本の伝統木彫が近代彫刻として再構成されていく道程をたどります。木彫、ブロンズ、石膏原型、墨画、さらに昭和35年に完成した代表作・三越《天女(まごころ)》の原型の一部など約100点を公開します。

県内で初の大規模回顧展となります。天才と呼ばれた稀代の彫刻家の表現世界をお楽しみください。

—— 関連事業 ——

国際シンポジウム「佐藤朝山(玄々)とパリ」

日時：11月23日(金・祝) 10:30～17:00(予定)

会場：美術館講堂

パネリスト：アレクサンドロ・ガッリッキオ氏(ボンビドゥー・センター研究員)

アメリカ・シムエ氏(ブールデル美術館長)

田中修二氏(大分大学教授)

藤井明氏(小平市平櫛田中彫刻美術館学芸員)

増淵鏡子(当館学芸員)

司会：坂本篤史(当館学芸員)

費用：聴講無料・申込不要

助成：公益財団法人
ポラ美術振興財団
POLA ART FOUNDATION

触って、話して、見て楽しむ美術鑑賞ワークショップ

「佐藤玄々の動物たちを楽しもう」

日時：11月3日(土・祝) ①10:30～12:00 ②14:00～15:30

講師：宮坂慎司氏(筑波大学芸術系助教)

協力：半田こづえ氏(明治学院大学非常勤講師)

真下弥生氏(ルーテル学院大学非常勤講師)

対象：各回中学生以上の視覚障がい者5名、聴覚者3名程度

申込締切：10月19日(金)

「木彫の鑑賞と制作～佐藤玄々の動物彫刻をたよりに～」

日時：11月4日(日)、11日(日)、18日(日)、25日(日) *4日間

10:30～16:00まで

講師：黒沼 令氏(彫刻家・郡山女子大学短期大学部講師)

対象：高校生以上10名程度 *応募多数の場合抽選

申込締切：10月27日(土)

「手のりの動物をつくろう」

日時：12月2日(日) 10:30～15:00

講師：当館スタッフ

対象：小学3年生～中学生10名程度 *先着順

申込締切：11月25日(日)

内容、受講料など詳しくはホームページでご確認ください。

担当学芸員によるギャラリートーク

11月10日(土)

12月1日(土)

いずれも14:00～15:00

観覧券購入のうえ、企画展示室入口にお集まりください。

本展では、東京藝術大学大学院保存修復彫刻研究室と共同のプロジェクトとして、天女像を全方向から3D計測、撮影し、会場内で映像としてご紹介いたします。

同時期開催「佐藤玄々の彫刻」11月3日(土)～12月9日(日)

相馬市歴史資料収蔵館 お問い合わせ：TEL 0244-37-2278(相馬市教育委員会)



交通のご案内

●電車：JR福島駅東口より福島交通飯坂線→「美術館図書館前」下車、徒歩2分●バス：JR福島駅東口より福島交通バス9番のりばから市内循環もりん2コース→「県立美術館入口」下車、徒歩3分●タクシー：JR福島駅東口、西口より約5分●車で：東北自動車道福島飯坂ICより約15分、福島西ICより約20分



画像提供：東京国立博物館
Image: TNM Image Archives

《牝猫》
1928年
個人蔵



《青鳩》1933年頃
福島県立美術館
河野保雄コレクション



《兎》
1906年
相馬市歴史資料収蔵館



《影》
1924年
個人蔵



《シャクンタラ姫とドウシャンタ王》
1915年
東京国立博物館
Image: TNM Image Archives



《神狗》
1950年代
妙心寺大心院



《陶仏頭》
1945年
福島県立美術館
横井美恵子コレクション



《天女(まごころ)》
1960年
日本橋三越本店



《宇賀魂命像》
1962年
個人蔵